

作業安全のための

安全診断・評価マニュアル 活用のススメ

ダウンロードはこちら→



Point
1

特別な知識がなくても、事業所の安全診断が実施できる！

Point
2

工場パトロールの方法を、写真を用いて分かりやすく解説！

(例)
機械や刃物等の日常点検・整備・保管を適切に行う。

フローチャート方式で
取組状況を評価

Q1
毎日、機械の始動前点検をしていますか？

はい

いいえ

D評価

抜本的な改善が必要



Q2
始動前点検簿を作成し、管理していますか？

はい

いいえ

C評価

取組が最低限（要改善）



Q3
日常点検以外に定期的な点検や整備を行っていますか？

はい

いいえ

B評価

取組が行われている



Q4
刃物へのカバー装着や専用容器に入れての保管など、
刃物を安全に保管するための取り決めがありますか？

はい

いいえ

A評価

積極的な取組が行われている



S評価



他事業場への模範となる
取組が行われている

評価結果を踏まえて
改善を検討・実施

工場内の安全対策をチェックしてみましょう！

資材の整理整頓



→土場や倉庫の状況を確認！

○ 評価	△ 評価	× 評価
		
資材の保管場所が区画線で示されている	資材置場の区分はないがまとまって保管されている	資材置場と通路が区別されず雑然としている

転落への対策



→階段を確認！

○ 評価	△ 評価	× 評価
		
階段には手すりがありステップに滑止めなどがある	手すりが設置してある	手すりのない階段がある

駆動部への巻き込まれ防止



→人が通る箇所の駆動部を確認！

○ 評価	△ 評価	× 評価
		
人が近づく駆動部にカバーが設置してある	駆動部にカバーはないが注意喚起がある	駆動部にカバーがなく注意喚起もない